

[江別市] 施策達成度報告書

政策 05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実

施策 01 子どもの可能性を伸ばす教育の充実

主管課：教育部総務課

施策の目的

子ども一人ひとりの個性をとらえ、知育、徳育、体育の教育的営みの中で、「個々に応じた教育」を実践することによって、社会に貢献できる人材を育成します。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

小・中学生	基礎・基本の学力を確実に身につけ、自分で課題を見つけ自ら学び自ら考え主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する能力や豊かな人間性、健康と体力等の「生きる力」を育成する。
-------	---

施策の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
「生きる力」が身についた児童・生徒の割合	%	64.9	68.2	68.3	69.3	77.6	74.3	↗

施策の達成状況(25年度)

江別市の子どもたちは、授業中の私語が少なく、礼儀正しく、落ち着いて授業に臨んでいます。また、学校では、学習サポート教員や学校支援地域本部ボランティアなどによるチーム・ティーチングや少人数指導を行うなど、児童生徒一人ひとりの理解度に応じた指導を行ってきたことにより、成果指標は目標を達成できた。

豊かな心の育成を図るため、道徳教育などの学習を進めるとともに、健康と体力のために基本的な生活習慣の改善に向け、家庭と連携して取り組んでいる。

今後は、放課後や長期休業中における学習支援を推進するとともに、ICTの活用や習熟度別授業など指導方法を工夫し、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成に努めていく必要がある。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	2,189,954	2,158,754	2,171,647	2,366,715	2,972,945
事業費(千円)	1,530,582	1,512,664	1,543,124	1,725,354	2,350,166
人件費(千円)	659,372	646,090	628,523	641,361	622,779

基本事業

01 教育内容の充実

基本事業の目的

特色ある教育メニューをつくり教育内容の充実を図ることで、子ども一人ひとりの個性に応じた教育が受けられるようにします。また、障がいのある子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な教育的支援が受けられるようにします。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

小・中学生	きめ細かで、時代に即した教育の促進を図る。
-------	-----------------------

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
教科の勉強が好きと答えた児童・生徒の割合	%	68.0	75.4	70.5	71.3	73.7	71.8	↗
学校の授業が分かると答えた児童・生徒の割合	%	95.3	85.8	90.3	91.6	88.7	92.1	→
不登校児童・生徒数	人	89	93	78	78	80	93	75

基本事業の達成状況(25年度)

後期目標の達成状況については、児童生徒一人ひとりの理解度に応じたきめ細やかな指導を行うことが重要であり、チームティーチングや少人数指導を行うため、学習サポート教員や学校支援地域ボランティアを派遣することで、「教科の勉強が好きだと答えた児童生徒数」及び「学校の授業が分かると答えた児童生徒数」は、目標を達成できました。今後も学習サポート教員などの派遣を継続するとともに、ICT等を活用するなど、きめ細やかな学習指導を行っていくことが必要である。

「不登校児童・生徒数」は、年度によって増減しており、目標値に近づいた年度もあったが、結果的に目標値を達成していないため、さらに相談体制の充実を図るなどの対策を進める必要がある。

障がいのある子どもについては、生活介助員・補助員の配置、個別の教育支援計画・指導計画の策定及び巡回相談の実施等で、きめ細やかな支援を行えるようになってきている。今後も各学校における支援体制を強化する等、一層の充実を図っていく必要がある。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	378,413	263,911	298,507	385,864	438,319
事業費(千円)	337,748	220,387	252,759	332,959	385,973
人件費(千円)	40,665	43,524	45,748	52,905	52,346

基本事業の目的

学校、家庭、地域が連携して開かれた学校づくりを進めることにより、子ども達を健康的に育みます。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

小・中学生、地域

学校、家庭、地域が連携し子ども達を育む。

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期 目標値
学校、家庭、地域が連携していると思う市民割合	%	67.0	67.3	-	71.2	72.1	70.9	↗
学校が地域交流の場として、活用されていると思う市民の割合	%	53.4	54.0	-	59.0	60.1	56.3	↗

基本事業の達成状況(25年度)

後期目標の達成状況については、学校支援地域本部を通して地域の方が学校での教育支援に係る取り組みを進めたことや、東日本大震災を経て、地域と学校が連携した避難訓練を行うなど地域交流の場として活用されたこともあり、目標を達成できた。今後も、ホームページや学校一斉公開で学校での取り組みを紹介するとともに、地域一体型学校の顔づくり事業や、学校支援地域本部事業を推進し、学校と家庭・地域が連携していく取組を進めていくことが必要である。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	5,149	5,207	5,487	5,497	5,435
事業費(千円)	3,074	3,192	3,079	3,092	3,091
人件費(千円)	2,075	2,015	2,408	2,405	2,344

基本事業の目的

正しい生活習慣を身につけ、食の大切さを理解しスポーツに親しむことによって、心身ともに健康な身体を育みます。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

小・中学生、保護者	健康な体を育む。
-----------	----------

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期 目標値
朝食を食べて学校に通う児童・生徒の割合	%	81.9	85.7	84.6	83.1	84.4	84.8	↗
学校給食の残食率	%	18.8	19.7	18.7	19.6	19.9	19.0	18.0
スポーツに親しんでいる児童・生徒の割合	%	64.5	60.2	-	56.2	58.4	56.6	↗

基本事業の達成状況(25年度)

後期目標の達成状況については、基本的な生活習慣の改善に向けて家庭への普及啓発に取り組むとともに、食育を通して朝食をとることの大切さを指導してきたこともあり、「朝食を食べる児童・生徒の割合」は、目標を達成した。今後は、さらに家庭への啓発と連携を進めていくことが必要である。

学校給食では、栄養教諭による食に関する指導を中心に残食率の低下を図ってきたが、嗜好の変化や家庭料理の洋食化などから目標達成には至らなかった。今後も食事の大切さを理解し、食に関する知識が身に付くよう指導していくことが必要である。

「スポーツに親しんでいる児童・生徒の割合」は、家庭への啓発やモデル校における体力向上の取り組みを行ってきましたが、携帯電話やゲーム機の普及など生活習慣の変化により、スポーツに親しんで児童生徒の割合は目標を下回りました。今後は、大学と連携し、モデル校での取り組みを基に、小学校の体育の授業に運動の楽しさや喜びを実感できるよう出前授業を実施する。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	466,972	464,953	477,686	478,271	454,698
事業費(千円)	272,715	275,462	299,429	307,850	287,420
人件費(千円)	194,257	189,491	178,257	170,421	167,278

基本事業

04 教育環境の充実

基本事業の目的

学校の適正規模化を推進し、さらに学校施設の整備を図るなど教育環境を充実させることで、子ども達にとって安全で快適な「学び舎」にします。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

学校施設	快適で安心して学習のできる学校施設が整っている。
------	--------------------------

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期 目標値
適正規模(12クラス～18クラス)の学校の割合	%	44.8	37.9	48.3	46.4	48.1	48.1	50.0
学校施設維持管理上の不具合のうち授業に支障が発生した件数	件	0	0	0	0	0	0	0
耐震化を終えた学校の割合(参考)	%	48.3	58.6	65.5	71.4	81.5	87.3	↗

基本事業の達成状況(25年度)

学校の適正規模化については、後期目標値には達しなかったが、江別小学校、江別第三小学校が平成28年度に統合することが決定しており、50%を超えることとなる。
 教育環境の充実の小中学校の校舎屋体の耐震化については、平成24年度で補強工事は終了し、今後は老朽化した校舎の改築工事により耐震化率を高めていく。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	1,055,579	1,110,189	1,061,048	1,178,018	1,743,089
事業費(千円)	680,508	747,892	709,910	813,690	1,393,456
人件費(千円)	375,071	362,297	351,138	364,328	349,633